

令和5年度 今泉小学校 学校評価書

自己評価の評価基準： A…十分達成している B…ほぼ達成している C…やや達成している D…改善する必要がある

学校関係者評価の評価基準： 自己評価と同じ評価の場合は、自己評価は妥当であると判断。異なる場合は、学校関係者評価委員会としての見方を示す。

| 領域 | 評価項目 | 自己評価 | 学校関係者評価 | | |
|----------|---|------|---|-------|---|
| | | | 評価者評価 | 意見・提言 | |
| 学校運営 | ① 学校は、学校教育目標の達成に向けて、具体的な方策を示し、組織的に取り組んでいる。令和5年度キックアップレース「いさつ・いさつ」がスタートしている。 | A | ● 成果 ● 課題、改善点 | A | <ul style="list-style-type: none"> 具体的な目標を掲げ、学校全体で取り組んでいる。 「個人差」はありますが、登下校時に自らいさつできる児童を多く見かける。 「学級差や個人差がある」に対し、教職員及び個人のステップバイステップの具体的な目標と、その実践が重要と考えます。 学校教育目標の達成においては、各担任が発達段階に応じた規程をもって、常日頃から指導を行うことが大切でしょう。また、学校教育目標の年次計画を教職員と保護者に示すことも必要かと思えます。 |
| | ② 学校は、目指す児童像「元気・笑顔いっぱい、今っ子」に向け一人一人を大切に、自己有用感を高め、夢をみる学校づくりを努めている。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 児童の話をよく聞き、いきいきアンケートの実施で児童の様子を把握し、児童が心地よい生活を送れるように、丁寧な生徒指導ができるよう、組織で連携している。 不登校児童や課題を抱える児童にも寄り添い、一人一人を大切に教育を推進している。 学校になかなか足が向かない児童にも、担任を中心に細かく連絡をとったり、保護者と話をしたりすることで、少しずつ学校にくることができている児童が増えている。また、苦しみながらも少しずつがんばろうとしている姿を見ることができた。 自己有用感を高めるためには、学力を向上させる必要があるかと思えます。その点を、もっと考えられるといい。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 先生が積極的に声かけをしている。 不登校者の自己有用感を高めるには、不登校の原因（勉強についていけない、いじめ等）を精査し、きめ細かい対応をお願いします。 教職員が児童一人一人のよいところを見つけてあげる視点を大切にしてください。 |
| 学習指導 | ③ 学校は、学力向上に向け、児童の実態に合わせた教養に努めている。学習方法の工夫、改善（ICT活用含む）と学力の定着に努めている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ICTについて、適宜、効果的に活用している。教材研究をよくして、児童の実態に合った教え方に努めている。 学びポケットの利用頻度が高く、子供たちの情報活用能力も高まっている。 ● 学力向上に向けて、動画や音声など効果的な活用方法について考えていきたい。 国、県、市の学力調査をもとに、学年内で分析を徹底している。市学調の結果からは、国語科において学力の向上・定着が見られた。算数には課題がみられるので、改善が必要である。 ICT活用については、ICT支援員さんと共に充実させることができている。 ● 1年生にも、Chromebookを使う機会を増やしたい。 | B | <ul style="list-style-type: none"> タブレットの活動が十分できている。 教科担任制で成長を上げている旨、今後充実願います。 児童の学力向上に向け、教員の指導力の向上と意欲を大切にしてください。 一人一台の学習者用端末（タブレット）の活用と記載されているが、低学年の授業において活用している姿があまり見られない。 |
| | ④ 学校は、英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る児童の育成に向け、英語教育や外国語教育を充実させている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 英語活動では、低学年児童が、毎時間楽しそうにいきいきと活動している。 給食の時間にEnglish Timeを設定し、児童が自然と英語を聞く時間が作れている。児童もそれを楽しみにし、親近感を感じている。 ● 8～9割の児童がALITに対していさつをしたり、習った外国語を使って話そうとしたりしている姿が見られる。 ● 授業以外でもALITと積極的に関わることができれば、さらに充実させることができると思う。 ● 支援学級では、高学年と低学年の二つのグループに分けて授業をした方がよい。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 外国人講師を交え、楽しい学習が実施されている。 今後の成果に期待したい。 文部科学省の指定を受けて、特別の教育課程を実施していることはいよいよとします。 |
| 生徒指導 | ⑤ 学校は、いじめを見過ごさず、いじめの根絶に取り組んでいる。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 「今泉小初期対応体制」を職員間で共有し、報告、連絡、相談も密に行っているのがよい。 ● 管理職を含め、初期対応をしたり対応を継続したり、引き継ぎを行っている。 ● 管理職が親身に相談に乗ってくれる。初期対応の徹底ができた。 ● 校長がいつも職員に伝えているとおり、一人一人に寄り添い、複数人で、丁寧な対応をという心が徹底できていると感じる。どんなに小さなことでも見過ごさないことが大切で、気になるところがあれば、すぐに学年の教員や出入りの教員、養護教諭、管理職と情報を共有することが大切だと考える。 ● 毎月一回のいきいきアンケートや、平素からの観察、児童からの訴えや相談もと、小さなサインも見過ごさないよう把握に努め、いじめ解消100%を目指し、学校全体として取り組んでいる。 ● 生徒指導部会で各学年の配慮を要する児童について情報の共有が図られ、組織的に対応し、校内全体で取り組んでいる。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 初期対応ができている。 ● 放課後のフォローは大変難しいが、具体的な方策について、検討が必要かも知れない。 ● 下校時におけるトラブルの発生機会も多くあり、保護者の見守りがあれば防げることも考えられる。保護者への理解と協力が重要でしょう。 ● いじめは絶対にあってはなりません。教員の意識を高め、児童の心の醸成をお願いします。 |
| | ⑥ 学校は、「思いやりのある子の育成（あいさつ、丁寧な言葉遣い、仲間を大切にすること）」に向けて、指導している。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ● 講話集の校長講話や、職員会議や職員会議をとおしての職員共通理解を徹底し、学級指導の際にも、児童に伝えることができた。 ● 教職員は、丁寧に児童に接していることで、児童の模範になると思うが、児童は、児童間で呼び捨てにしていたり、言葉が乱暴な児童がいたりするので、継続的な指導が大切だと考える。 ● 丁寧な言葉づかいについては、まだまだ課題がある。学校だけでなく、家庭にも呼びかけていく必要がある。 ● 丁寧な言葉づかいについて、年間を通して取り組んでいくとよい。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ● 全生徒児童への徹底は時間がかかるかと思えます。 ● 地道な取組が成果につながるかと思えます。 ● 正しい行いと間違った行動を常に児童に考えさせる指導をお願いします。 ● 「帰りの会」でがんばっていた児童の紹介すると記載があるが、特定の児童へ偏りがないよう、配慮が必要と感じます。 |
| 健康・安全・体力 | ⑦ 学校は、歯と口の健康づくりを基盤とした健康教育及び、食育、安全教育に取り組んでいる。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ● 歯科健康教育に積極的に取り組み、フッ化物塗布、工夫した歯磨き指導（歯磨きの音声や動画など様々な取り組み）、衛生検査をとおして歯みがきの習慣化を促している。そして、児童一人一人が歯みがきを一生懸命行っていること。結果としてコンクールでは最優秀賞を獲得した。 ● 食育はエプロンシアター等をおこなっている。また、給食委員会の食品ロス削減について取り組みを行っている。 ● 安全については、繰り返し指導してはいるものの、廊下歩行については、課題がある。廊下を走る危険性について、加害者になる可能性、被害者になる可能性などを含めて、学年の実態に応じた具体的な指導を年に何回か実施するなど、指導法を工夫することが大切だと考える。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ● 最優秀賞受賞おめでとうございます。熱心な取り組みの成果です。 ● 健康教育・食育・安全教育は将来の日本人を育てる大切な教育活動だと思えます。 |
| | ⑧ 児童が運動に親しみ、技能や体力を向上させる取組を推進し、外遊びの充実を図っている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ● 体育委員の体力向上の取り組みや、体育委員会が外遊びの奨励をしている。児童が外に出てくると活動している。 ● 体育委員会や体育館使用等の運動の工夫を行い、推奨している。 ● 業間休みに思い切り体を動かしている児童が多い。 ● 元気に外遊びはしているが、体力テストの結果が上尾市の中でも低い。 ● 外遊びできる時間が業間休みしかなく、時間も短く、運動をする機会が少ない。来年度の業間休みが5分伸びたことで改善できるとよい。 ● 外遊びをする時間をとれない。 ● 外遊びを楽しみにしている児童が多く、集会等がある時には、遊べないと残念である。 ● いきいきタイムやたてわりで業間休みが減ってしまっている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ● 対応策は評価できます。 ● プロや先人の講師招聘はとてもよい機会になると思いますが、可能であれば継続することと、運動以外の領域でも広げられればよい。 ● 体力向上に苦慮されていることがわかります。 ● 「1年生OK、2年生以降NG」は学校の課題と捉えるべきであり、具体的な体力向上策を策定・実行し、マイルストーン毎に評価してください。 ● 規則正しい生活と運動、睡眠はとても大切だと思います。 |
| 環境 | ⑨ 学校は、清掃・掲示・環境美化に努め、明るく清いのある環境づくりを進めている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ● 児童は限られた時間の中で黙々と清掃を行い、自分の掃除場所を責任もって取り組むよう声かけをしたり、色々な先生方が見回している様子が見られる。 ● 児童が日々一生懸命清掃している。長年のよれば、職員作業などで大人の手が入ると、少しはきれいになるのではないかと思う。 ● トイレの清掃指導が更に必要と思われる。 ● トイレについては、児童の清掃のみではなかなか難しいと思うので、児童用のトイレについても、職員でときどき清掃する時間が設けられたらさらに良くなると思う。 ● 学年掲示板や委員会掲示している時間がある。 ● 清掃については、隔々まできれいになっていない箇所もあるため、清掃時間の確保が必要かと思う。 ● 流し清掃は児童清掃用のマニュアル作成をお願いしたい。 ● トイレ清掃は、児童が、短時間で行うには難しいので、曜日を決めて重点箇所を行うなどしたい。トイレの床は業者さんに年1回でも予算がつけばお願いできると助かる。また、常時清掃しているスポンジが高額であれば、別の清掃用具にしたい。ペーパーの補充も各フロアで管理できれば、保健室までとりに来る必要がないので、時間短縮になるのではないかと。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ● 学校全体にわたり、清掃されています。 ● 明るくきれいな雰囲気の良い学校です。 ● 養護教諭の日々の努力が、健康教育につながっているようで素晴らしい。しかし、適量にならないようにすることと、養護教諭2名体制も検討の必要があるかも。 ● 学校は公共物であり、生活や学習する大切な環境であることと、大事にしてください。 |
| | ⑩ 学校は、学校の方針や取組、児童等の様子がよく伝わるように、保護者や地域に情報を提供している。（学校だより・学年だより・ホームページ・配信メール等） | A | <ul style="list-style-type: none"> ● さくら連絡網の有効活用や、毎週のホームページ更新で広く周知を図っている。 ● 配信メールは、必要なときにわかりやすく配信されている。 ● 金曜日にはホームページを作成する時間があり、情報発信ができている。 ● 学校だよりやホームページなどで、児童の様子について情報の発信ができている。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ● 保護者との連携を密にしている様子がわかります。 ● さくら連絡網、授業公開は非常によいと思えます。 ● 授業公開を25回実施していることは、素晴らしいと思えます。 ● 1年間の教育活動に邁進いただき、ありがとうございました。 ● さくら連絡網の配信により、学校からのお知らせにより、タイムラグがなくとてもよい。 ● （さくら連絡網は、）紙媒体と異なり、お知らせを見たことを忘れることがありません。 |